



第81号  
 (発行所)  
 真宗大谷派  
 松岡山 廣讚寺  
 中村区城屋敷町3-30  
 TEL (052) 411-5301  
 FAX (052) 411-5341  
 携帯 090-1568-4623  
 (E-mail)  
 matsuoka@kosanji.or.jp

天折

- 23歳 滝廉太郎
- 24歳 樋口一葉
- 26歳 石川啄木・金子みすゞ
- 37歳 宮沢賢治
- 39歳 清沢満之

右に記したのは若くして亡くなった著名人の年齢です。自分の年齢を考えてみると、この方々の偉大さがわかります。自分が23歳の時、24歳の時・39歳の時を思い返してみると何とも浅い人生を送っているなと思いつつ、今まで何をしてきたのだろうかと思いつつ、そうやってみても、人生は長さではないんだと考えさせられます。密度でしょうか。



東本願寺御影堂

## 第一回廣讚寺本山上山奉仕の思い出

伊藤和美

昭和五十八年八月、東本願寺本廟へ上山奉仕に行きました。廣讚寺同朋会結成から五年目の時でありました。

参加者は二十六名で二泊三日の上山奉仕でした。私も当時五十才でした。写真を見ていただけたらおわかりだと思いますが、二十六名の中でも半数近くの方が亡くなられました。

まずは一日目、朝六時に廣讚寺に集合しバスで九時に本山に到着しました。最初に両堂でお参りした後、法話を聞いたり、お勤めをしたり、話し合いをしたり就寝の十時まであわただしい一日でした。ちなみに初日のお勤めでは、私、伊藤和美が導師を勤めました。

二日目は、六時に起床し部屋

やトイレなどの清掃をし、本堂に行きお勤め、法話をいただきました。その後朝食をとり、お内仏について学習しました。そして帰敬式があり写真撮影。そ

の後諸殿拝観ということでは見ることが出来な  
い本山の奥の座敷などを見せていただきました。それ  
から本山の本堂あたりを掃除しました。そうこうして  
いるうちに夕方になりお勤めをして夕食をいただいた  
後、講義を受け感想文を書きました。そして十時に就  
寝しました。

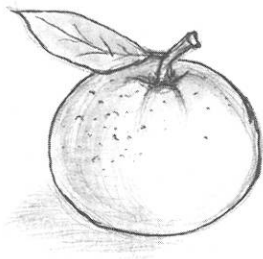
三日目は、朝起きて、お参りをして少しの講義受け  
たら、解散式となりました。昼食をいただき、東本願



寺をあとにしました。西本願寺に参拝した後、新幹線で名古屋に戻りました。

それから数日後、反省会を開きました。その中で、上山奉仕は五年に一度は行きたい。他県の人々と出会えてすぐくよかった。若い人が行くと参考になることが多い。などの感想が出ました。

あれから三十年以上がたちました。今でも本山では上山奉仕はやっておりません。私はもう一度この上山奉仕をしたいと思っております。



本廟奉仕 昭58 8 24  
真宗本廟 同朋会館

## 平成27年(2015年) 年回表

年回	年回にあたる没年
一周忌	平成26年 (2014年)
三回忌	平成25年 (2013年)
七回忌	平成21年 (2009年)
十三回忌	平成15年 (2003年)
十七回忌	平成11年 (1999年)
二十三回忌	平成5年 (1993年)
二十七回忌	平成元年 (1989年)
三十三回忌	昭和58年 (1983年)
三十七回忌	昭和54年 (1979年)
四十三回忌	昭和48年 (1973年)
四十七回忌	昭和44年 (1969年)
五十回忌	昭和41年 (1966年)

### 行事予定

十二月五日(金)～十二月七日(日)

報恩講執行

十二月十三日(土) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

十九日(金) 二時～四時 学習会

二十八日(日) 十時 二十八日講・女人講

三十一日(水) 三時 歳末勤行

十一時半～十二時半まで 除夜

一月一日(祝) 十時 修正会

十一日(日) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

十九日(月) 二時～四時 学習会

二十八日(水) 十時 二十八日講・女人講

### 二十組行事

十二月十五日(月) 十一時 東別院報恩講

お勤め稽古の後、

外陣で助音につきます